



● 白松 (はくしょう)

〔社務所南側〕



● 三葉 (さんよう) の松

〔北神苑塩の道道祖神前〕

安海郡美

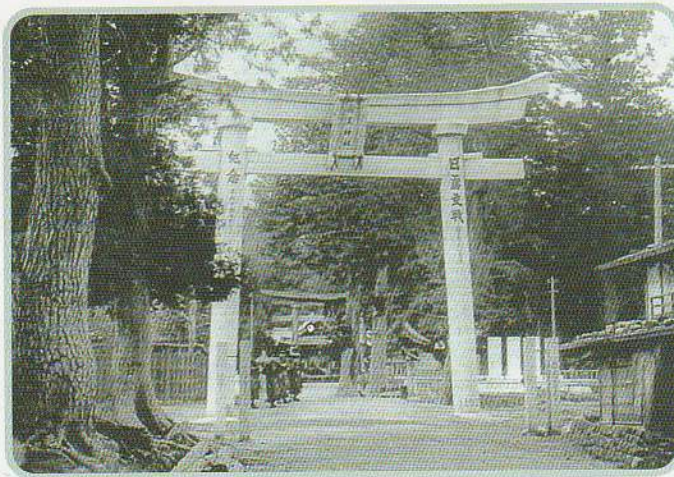
中国の紫禁城の名樹「白松」の松であり葉は、三葉、幹は茶褐色・緑色の斑点が特徴で昭和天皇が再三御下門された大変お芽出たい松であります。

現在も皇居に山葵献上の際、松の枝を添え献上しております。

別名、「三結(さんこ)の松」とも呼ばれ全国的にも大変珍しい松であります。

そもそも松は古来より「長寿」の縁起物であり、この松が落葉時に黄金色になることから「金運の松」と呼ばれ、財布に入れておくと金運に恵まれると伝えられています。

発行所
 穂高神社社務所
 創刊 昭和52年2月
 〒399-8303
 長野県安曇野市穂高6079
 電話 0263-82-2003
 FAX 0263-82-8770



● 正参道鳥居修繕

不慮の事故により鳥居の貫(ぬき)部分が崩れ、通行に危険があるため額、笠木(かさぎ)を下ろしました。

修復にあたり、鳥居の柱には奉納頂いた方々の銘文があるため、破損した貫の部分だけを新しく作り直しました。

・正参道鳥居

この鳥居は日露交戦戦勝記念に明治42年5月に建てられました。当時この鳥居に「日露交戦記念」の文字が刻まれていましたが、太平洋戦争終結の折に文字は削られました。



修復後



額・笠木を下ろす



貫がなし

節分祭・竈神祭

2月3日4時より節分祭・竈神祭を斎行した。

拝殿にて神事を
行い、神
楽殿にて
穂高ビュ
ーホテル
宿泊券な
どついた
福豆と福
銭、菓子
をまいた。

無病息災や商売繁昌を祈る行事
に大勢の家族連れや氏子が集ま
った。



勸学祭

3月29日、今春小学校入学児童
の学業成就と健やかな成長を願う
勸学祭（入学祝）を勸学祭奉賛会
と当神社が共催して行った。穂高
地域の保

育園・幼
稚園を卒
園した児
童等が騒
ぐことな
く神妙な
おももち
で参列し
た。



奉射祭

去る3月17日、特殊神事奉射祭
（市無形民俗文化財）が斎行され
ました。

奉射神事は、拝殿よりまず東北
の方向に神の矢を射り、次に東南
の方向に殿の矢を射って四方の魔
を祓う。その後、神楽殿前につる
した大的に矢を12本射るが矢は12
ヶ月を表しその的の中によりその月
を占う。

今回は平成28年に斎行される式
年遷宮祭の奉祝事業であります神
楽殿改築のため旧神楽殿を使用す
る大的には最後となりました。



多くの参拝者が見守る中、官司
以下神職が五穀豊穡を祈り13メー
トル先の大的に矢を射った。矢と
大的には魔除けや家内安全の御利益
もあり、参拝者は我先に手を伸ば
していました。

氏子総代紹介

等々力区 幹事 浅川保門

福沢勝幸・二木英充・大倉清市・
宇留賀吉正・小林信二

等々力町区 幹事 尾川喜代孝

矢野口好澄・半田雅己・松澤 求
宮田 敏・小林史人・岩間隆司・
百瀬千秋・小山 勇・斉藤和幸

穂高町区 幹事 赤羽章正

小見山忠彦・寫田重男・畠山泰彦
小林 宏・小椋今朝市・泉 孝昌
永田英雄・安藤徳一

穂高区 幹事 小河深美

小野仕須宏・西沢康男・喜多克仁
牧石光男・竹中保雄・原 周也・
青柳 正・長澤恵一・相澤幸安・
内川和宣・飯沼良明・森川幸一・
阿部正人・丸山正高

（敬称略）

第31回 安曇野道祖神まつり

「安曇野で道祖神を語る集い」

ご案内

8月29日(土)・30日(日)開催
(2日間)

内容

●道祖神祭り

●講演会

●道祖神めぐり

多数ご参加頂きますよ

うご案内申し上げます。

◆問い合わせ

穂高神社社務所

☎0263-82-2003

第16回 子供相撲大会 参加者募集

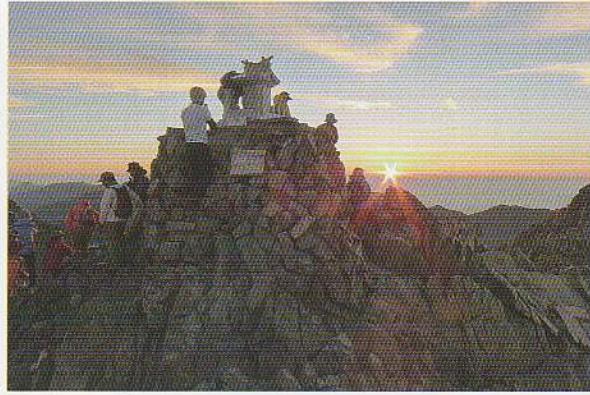
元気に相撲をしよう!!

9月5日(土)の子供祭に奉納し
て、例年通り子供相撲大会が南神
苑の土俵にて開催されます。

穂高地区内の男女小学生なら誰
でも参加できます。友達を誘って
大勢のご参加をお待ちしています。

第10回 穂高神社
写真コンテスト入賞作品

一般の部



大賞「嶺宮ご来光」 高山浩一



嶺宮賞「準備できたかな？」

藤原國廣



奥宮「朝靄に浮かぶ龍神」

酒井正夫



本宮「大人船ぶつけ合い」 平川博夫

●平成26年7月1日より平成27年3月31日まで
作品を募集したところ、大勢の方より応募を
いただきました、ありがとうございます。

大賞	高山浩一	松本市	嶺宮ご来光
本賞賞	平川 博夫	安曇野市	大人船ぶつけ合い
奥宮賞	酒井 正夫	富山県	朝靄に浮かぶ龍神
嶺宮賞	藤原 國廣	安曇野市	準備出来たかな？
入選	保崎 健文	安曇野市	神灯に囲まれて
入選	村岡 清隆	大田市	神の姿を射る
入選	等々力 明	安曇野市	雪の神灯灯
入選	会田 仁	安曇野市	御霊に捧げる
佳作	坪田 美佳	安曇野市	おおとびさんと私
佳作	高橋 正仁	山梨県	佳日
佳作	高橋 明子	山梨県	お船に響く
佳作	増田 恵	長野市	寄り添い
佳作	浅川 深	安曇野市	神楽舞
佳作	浅川 泰廣	安曇野市	船を曳く
小・中学生の部			(敬称略)
大賞	坪田 佳子	安曇野市	待つこゝへ。

第11回 穂高神社
写真コンテスト開催

安曇の祖神とする穂高神社本宮、
上高地奥宮、奥穂高岳山頂に鎮座
する嶺宮にかかわる風景・祭典な
ど四季折々の穂高神社を映し出す
作品を募集します。

応募期間
平成27年7月1日～
平成28年6月31日

一般の部

カラッププリント四ツ切
(四ツ切ワイド・A4サイズ可)

小中学生の部

カラッププリントしし

応募規定等詳細は穂高神社HP
または社務所までご連絡下さい。

崇敬会新入会員

(平成26年11月1日～平成27年4月30日)

名誉会員

上條 恒二 伊東巳代治

個人会員

丸山 秀樹 中村 光雄 山田 久登
丸山 貞利 池田 淳 神谷 知宏
西本 萬彦

崇敬会入会のご案内

安曇野が誇りとする20年に一度御本殿一
殿を造り替える式年大遷宮祭と北アルプス
のふもとの安曇野が心と技を捧げる御船祭
は、長い歴史の中で培われた安曇野の文化
と信仰を象徴しています。

海の恵みと山(陸)の幸を併せ持った御
神徳は広大無辺であります。

皆様方には穂高の大神様とより一層深い
御神縁を結ばれ生き生きと栄え日々御護り
頂けますよう「穂高神社崇敬会」のご案内
を申し上げます、一人でも多くの皆様方にご入
会頂けますようお願い申し上げます。

会員種別入会金(年会費)

- 一、個人会員 3,000円
- 一、法人会員 5,000円
- 一、名誉会員 10,000円
- 一、特別会員 2,000円

◎特別会員

穂高神社氏子(安曇野市穂高 等々力
区・等々力町区・穂高町区・穂高区在
住)に限る

各祭典行事

6月30日	大 祓	午後5時
7月14日	八坂社宵祭	午後8時
15日	本祭	午前10時
25日	鹿島社宵祭	午後8時
26日	本祭	午前10時
8月2日	祖霊祭	午後5時
15日	穂高霊社御霊祭	午後8時
9月5日	子供祭宵祭	午後8時
6日	本祭	午後3時
26日	例祭 宵祭	午後8時
27日	本祭	午後3時
10月7日	山岳遭難者慰霊祭	午後5時
8日	奥宮例祭	午前11時
11月19日	列格記念祭	午前11時

豆知識

神前結婚式について

結婚は、数ある人生儀礼の中でも最も晴れやかな人生の節目といえるでしょう。神様のおはからい（御神縁）によって結ばれた2人が神様の前で、人生の苦楽を共にして明るく楽しい家庭を築き、子孫の繁栄をはかることを誓い合います。

現在のような神社における結婚式の形は、明治33年5月10日、皇室婚嫁令により、当時皇太子であられた大正天皇と九条節子姫（貞明皇后）が、宮中賓所（かしこ）で、大前において取り行われた御婚儀に、大きな影響を受けています。翌34年、この御婚儀に基づき定められた次第による神前結婚式が、一般でも日比谷大神宮（現・東京大神宮）において初めて行われ、全国各地に普及するようになりました。

それ以前は、家庭の床の間に伊弉諾尊（いざなぎのみこと）・伊弉冉尊（いざなみのみこと）の御神名の掛け軸や、自ら信仰する御神名の掛け軸などを飾り、その前に御饗御酒をお供えして祀り、この御神酒を三三九度により新郎新婦が戴くことで、夫婦の契りを結ぶ形でした。現在の神前結婚式は、家庭における婚儀の形や礼儀の作法を最大にし、我が国の伝統的な考え方を継承したものであるといえることができます。

新入職員 よろしくお願ひします



竹内みかり 安曇野市

4月から新しく入社させて頂いており、上手く職場の先輩方となじめるか不安でしたが、正式に入社させて頂いておりました。

社させて頂く前にお正月のアルバイト以降、少しずつ働かせて頂いていたので、顔を覚えて下さって優しくお声掛け下さったのがとても有難かったです。初めて社会に出るということで、礼儀や作法があまりよく分からない状態ですので、たくさんご迷惑お掛けするかと思ひます。その時には優しく注意して下さい、温かい目で見守って頂けると嬉しいです。

できるだけ早くさまさまな仕事に慣れて、アドバイスを頂いたり、自分で改善していけたらと思っております。宜しくお願い致します。



腰原 実紅 大町市

今年4月より穂高神社の巫女として正式に奉職させて頂いております。新しい環境の中で戸惑うことも多々ありますが先輩の方々による丁寧なご指導により、少しずつではありますが日々の仕事の上達とともに様々な経験ができる事にとっても感謝しております。また、穂高神社という長く伝統を受け継いでいるこの場所が働いているというこの仕事をしっかりと自覚し、1日1日を大事に過ごしていこうと思っております。

まだまだ未熟なため、いたらない点も多く職員の皆様方にご迷惑お掛けしてしまう事も多いと思ひますが精一杯自分のできる最大限の力をだし少しでも多くの方々の助けとなる仕事をしていくために日々努めていく所存でありますので宜しくお願い致します。

穂高霊社みたままつり 第30回奉納手筒花火

8月15日斎行



8月15日午後8時より穂高霊社みたままつりが斎行されます。祭典終了後、北神苑において遠州三ヶ日の花火師により手筒花火が奉納されます。大迫力の爆発音と想像を超える大きな花火の柱、そして花火師の技と気合いをお楽しみ下さい。